

<実践中心校における取り組み【個別指導】対象 肥満度20%以上の児童>

1 すくすく指導（児童に対する個別相談指導）

- ア 期日 長期休業前（7月、12月）
- イ 指導 養護教諭（休み中の生活の仕方について）
栄養教諭（「食事」「おやつ」について）

2 「すくすくノート」の作成

- 個別指導のための家庭との連絡ノート
 - ・身長、体重、肥満度の変化等の記録
 - ・「肥満」「肥満度」について
 - ・気をつけたい生活の仕方について
 - ・おやつの食べ方について



3 食事調査

- ア 期間 6月、11月の連続した3日間
- イ 方法 食事・間食の時間、食べたもの、量を記入させ、摂取エネルギー等を算出し、栄養バランスや食生活の傾向を調べる。

食事・おやつ調べ

項目	2月24日(水)	2月25日(木)
エネルギー(kcal)	1632	1632
たんぱく質(g)	56	56
脂質(g)	42	42
糖質(g)	216	216
食塩相当量(g)	10	10

食事バランスガイド

4 保護者との面談

食事調査の結果について知らせ、「すくすく指導」における指導内容を確認。家庭での取り組みや励ましをお願いする。

5 見守り個別指導

教職員共通理解のもと、担任、養護教諭、栄養教諭等、教職員全体が学校生活の中で対象児童を見守り、声をかけるなど支援する。

<実践協力校（盛岡市内栄養教諭配置校 6校）における取り組み >

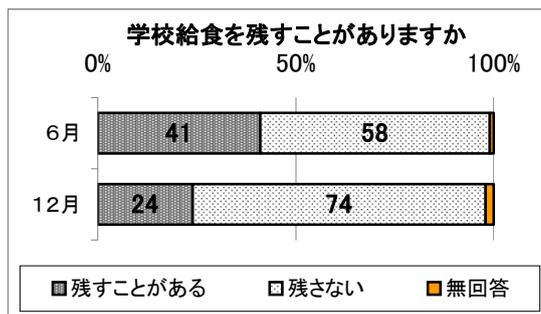
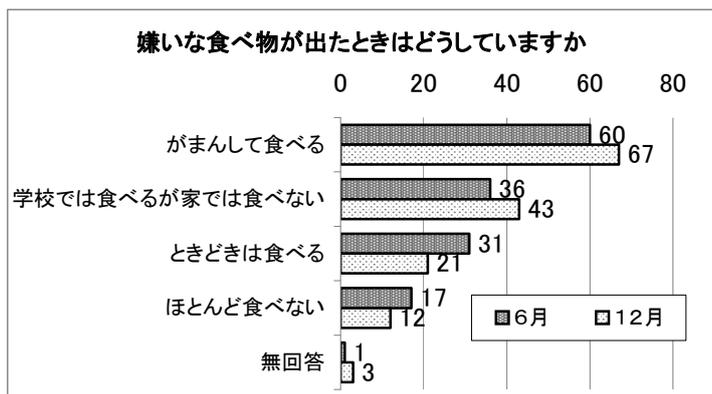
- 1 食育だより、給食だよりの発行
- 2 食育一口メモ（給食時間の放送）
- 3 健康づくり・体力づくりチームによる取り組み（運動の環境整備、元気づくり大作戦）
- 4 食生活アンケート
- 5 食習慣チェックシート
- 6 肥満傾向児童に対する集団指導
- 7 個別指導

数字で変化のあった事項について

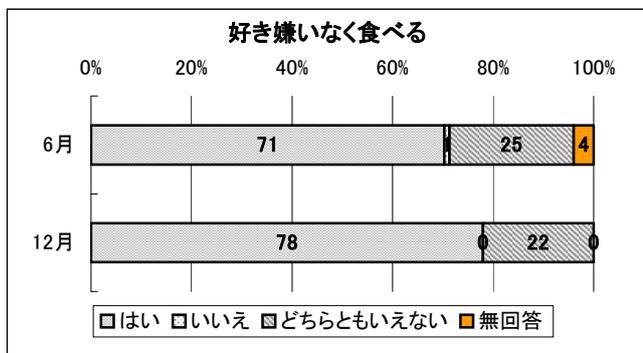
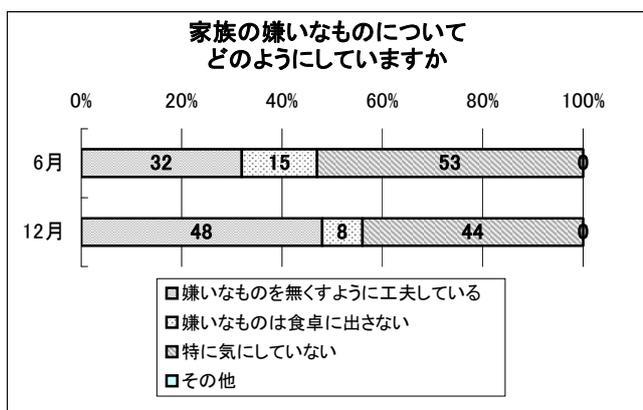
<児童の肥満度の変化>

- 1 肥満度20%以上の児童数 4月14人（7.6%）→1月11人（6.0%）
- 2 肥満度20%以上の児童のうち肥満度が下がった児童 14人中8人

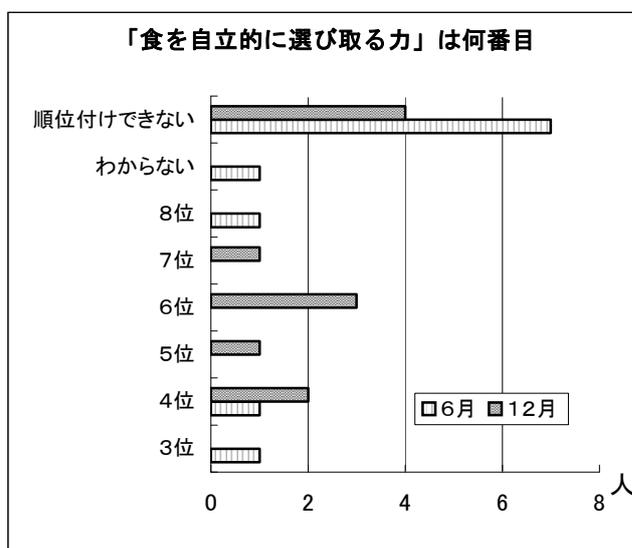
<児童の意識から>



<保護者の意識から>



<教職員の意識から>



事業全体を通じて、特に効果のあった方策等について

- ・ 教職員の共通理解のもとに、給食時間のきまりを徹底させたこと
- ・ 講演会で、5・6年児童、教職員、保護者が健康・食育についての話を聞いたこと
- ・ 生活習慣チェックを通して、日頃の生活習慣を見直したこと
- ・ 校内体制の中で、個別指導を行ったこと

今後の課題(今回の事業により新たに見えた課題など)

- ・ 職員間の共通理解の徹底
- ・ 組織を機能させるための定期的な時間の確保
- ・ 栄養教諭がコーディネーターとしての役割を十分に果たせるための校内支援
- ・ 食に関する指導と個別指導、生活習慣指導の連携を深めること
- ・ 食に関する指導の事後指導の継続
- ・ 冬期間の運動量の確保